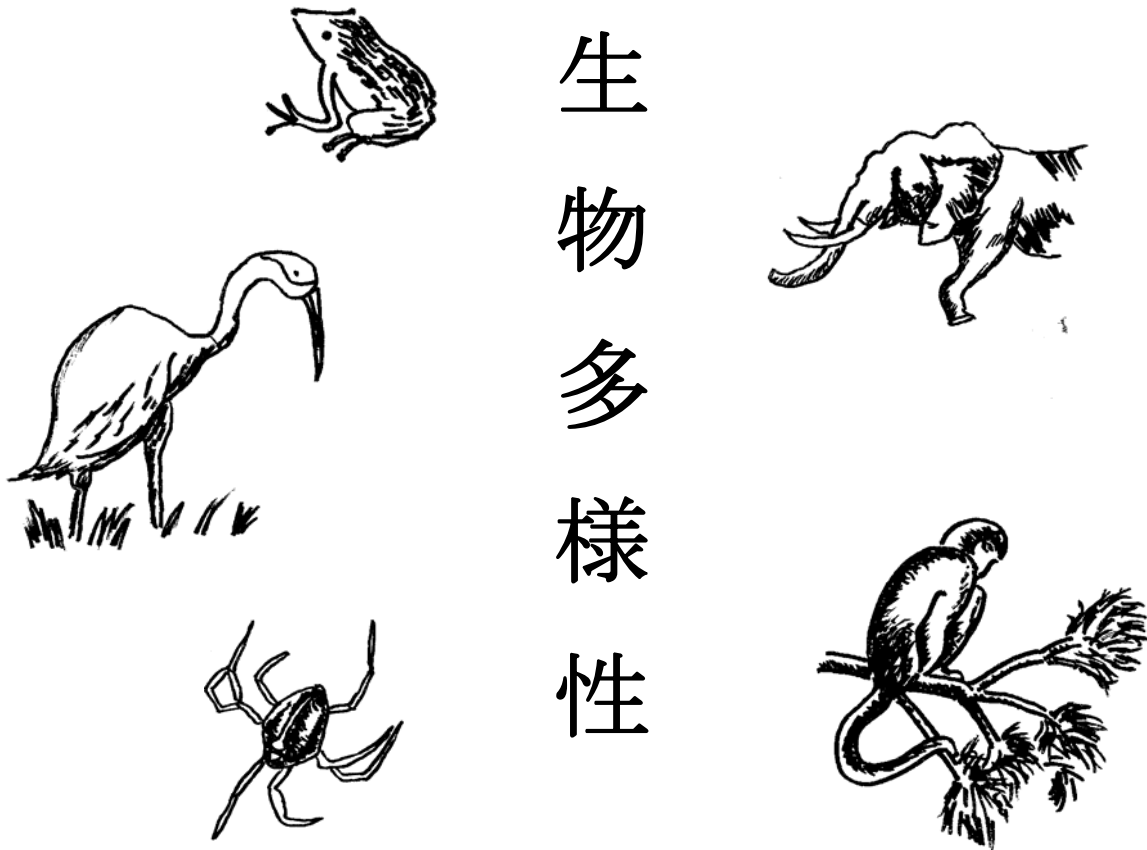


エコプレス 7月号

平成22年7月15日発行

暮らしのCO₂ダイエットニュースレター

発行：アジェンダ21すいたエネルギー部会
編集：関西大学良永ゼミ



みなさん、こんにちは！エコプレスを手にとっただきありがとうございます！

暑い日が続いていますが、みなさんどのようにお過ごしでしょうか？

今回の特集は、生物多様性です。生物多様性とは簡単に言うと生物の豊かさのことです。今、この生物多様性が脅かされています。様々な原因によって引き起こされており、地球温暖化もその1つだと言われています。今最も注目されている環境キーワードとして是非一緒に勉強していきましょう！！

CONTENTS

- 生物多様性 … 1
- エコツアー … 2
- すいた環境教育フェア2010 … 3
- 環境先進国の取組み … 4
- 特集：生物多様性って何？ … 5
- 旬の食材・食と環境 … 6
- 小説・映画紹介 … 7
- イベント紹介 … 8

すいたエコツアー

地産地消を求めて～能勢『くりの郷』～

平成22年5月14日（金）、アジェンダ21すいたエネルギー部会主催「すいたエコツアー」に参加させていただきました。市民の方と能勢「くりの郷（能勢町観光物産センター）」、「吹田市・能勢町交流センター」へ見学に行きました。

《能勢くりの郷》

能勢くりの郷は、国土交通省が全国936か所に定める休憩施設と地域振興施設が一体となった“道の駅”として立地しています。出品者が販売物の値段を自由に決めことができ、その売り上げの一部を運営費として還元しているそうです。地元地域の農家の方によって栽培された旬の野菜や果物、また工芸品などが販売されており、人気のモノは仕入れ後すぐに売り切れてしまうそうです。この地域では栗やイチゴなどが人気のようです。隣接するレストランでは、地元野菜をふんだんに取り入れたふるさと料理を食べることもできます。



《吹田市・能勢町交流センター》

こちらでは、能勢町観光物流センターや、出荷組合の方に能勢町物産センターの現状や課題、取り組みなどのお話をいただき、意見交換を行いました。お話によると、ロコミなどで年々物流センターへの来客数が増え、売り上げも伸びており「地産地消」につながっているといえます！

そのあと、実際にセンターへ出荷されている農家の方の畑にも見学させていただきました。

※「地産地消」とは地元で生産されたモノを地元で消費すること。安全で鮮度の良い地元のモノを食べることで、地域の食育を高めることができ、農水産物の輸送にかかるエネルギーを最小限に削減することができます。



～感想～

今回このツアーに参加してみて、能勢の農家の方と、それを引き受けて直売している方の両方の取り組みを伺うことができました。地元で採れた食材は鮮度もよく、価格も一般よりも安く設定されているので、消費者の安心感が高いと感じました。スーパーなどで野菜や果物を買うときは、つい値段ばかりに目がいってしまいがちです。その食材がどこで、どのように生産されたのかを気にとめて買い物をしてみると、また違った目線から買い物をする事ができるのではないのでしょうか？ 意外なところに地元の食材があったりするかもしれませんね♪



『すいた環境教育フェア』 報告



2010年6月19日(土)、吹田メイシアターにて、すいた環境教育フェア2010が行われました。

午前中には、環境保全活動事例の発表会がありました。内容は身の周りの環境について、子どもから大人までそれぞれの視点に基づいた発表を通して互いに環境について理解を深めようというものです。小学生の発表では、大人顔負けの見事なプレゼンで圧倒されてしまいました。そんな子どもたちの将来が楽しみです。午後からは吹田市環境部による『環境世界都市すいた』の実現に向けた「まちづくりガイドライン」【開発・建築版】の説明が行われ、開発・建築は環境に負担をかけやすいだけに事業者の早い段階での環境配慮がいかに大事なのかという事が分かりました。



また会場にはブースが設置されており、企業や団体が環境にどんな取り組みをしているのかというのを来場者に説明しており、質問にも丁寧に答えてくれたため環境への理解が深まりました。

トピック：ジュゴン

みなさんジュゴンという生物を知っていますか？2010年は、生物多様性年であるのと同時に国際ジュゴン年でもあります。ジュゴンは絶滅危惧種1A(最も絶滅の危機が高い)に分類されている動物ですが今日、ニュースで話題にもなっていた米軍の基地移転問題で沖縄の辺野古基地に移設されようとしています。しかし辺野古はその貴重なジュゴンの生息地であるため、もし移転されてしまえばジュゴンの生態はこれまで以上に脅かされてしまいます。署名だけでも力になれるのでぜひ、みなさんもジュゴン保全のために出来ることをやっていきましょう！



メイシアターの外では紙のリサイクルやすだれ作り方など暮らしの中でできるエコな取り組みが紹介されていて、ブラックバスなどの外来種により食べられ激減してしまった淡水魚がまちなか水族館の形でみることができ、ちょっとした癒しスポットでした。また、自然の川で淡水魚が見られるように川の環境保全意識をより高めないとはいけませんね。

～すいた環境フェアを通して～

環境教育フェアを通して、環境について多くのことを学ぶことができました。また、今年は生物多様性年だけあって、吹田に咲く桜の種の多様性が損なわれていたりすることや、沖縄のジュゴンの存亡が危ぶまれていたりといった事例を聞き、私たちの知らないところで多様性の危機がどんどん進行していると感じました。それでも現状を知ることによって一人一人が何か出来ることがあるはず。その上で、環境教育がとても重要であることを改めて感じました。

『環境世界都市すいた』の実現に向けて周りの環境がどう変わっていているのか、そんなことを少し意識して生活してみませんか？何か変わっていくはず。です。

環境先進国の取り組み

～スウェーデン編～



右の絵は持続可能な社会の国際ランキングです。
スウェーデンは環境に対しての取り組みが高く評価されています。ここではスウェーデンの取り組みの一部を紹介したいと思います。



環境教育

スウェーデンは環境教育が進んでおり、環境への取り組みの証明としてわたされるのが「グリーンフラッグ」です。グリーンフラッグを得るための活動の参加は、まず初めに、生徒はもちろん、教師、保護者なども含めた環境委員会を設けます。次に、環境に対するテーマと具体的な目標、たとえば、エネルギー、リサイクルと回収、森のエコロジーをテーマに定め、1年の活動後に達成度を評価して事務局に報告します。この一連の活動ができてはじめてグリーンフラッグの認定が得られます。1年後この旗がキープできるかどうか、また報告書を出して証明されなければ、学校は旗を返さなければなりません。学校においてこのような本格的な環境教育を行い、また子どもたちが家庭で実践することで、環境への意識改革や態度の変化を起こすことができるのではないのでしょうか。



乗り物

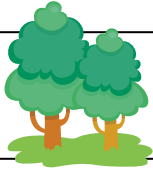
化石燃料なしの市内バスは全国の街で一般的になっています。バナナやジャガイモの皮、シャワーの排水（下水処理場の中）から出るガス（バイオガス）、残ったワインやビール、植物や葉（バイオエタノール）、水素バスなどはすでに街中を走っています。なぜこのようにエコカーが普及しているのかというと様々なインセンティブがあるからです。

たとえば、環境に配慮した車「エコカー」を購入すれば、街中の駐車場は無料というものです。また政府が、『2015年：一般ガソリン車の販売は禁止、2030年からすべてのガソリン自動車・バス・トラックが全国の道からなくなる』という提案を出しています。事実として、2008年の新車の約30%はエコカーでした。

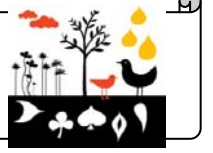
上の図のランキングのように、スウェーデンで環境保全が進んでいる理由は、子供から大人まで全ての世代が環境保全に取り組む機会があるからだと思います。小さいころから本格的な環境教育があるおかげで、環境保全への意識が深まり、多少負担があっても、環境だけでなく自分にもプラスになるエコカーなど環境に優しい乗り物や制度を受け入れやすかったのではないのでしょうか。

日本もスウェーデンの政策などを見習って、様々な取り組みが当たり前になる社会になるといいですね！





生物多様性って何？



みなさんは生物多様性という言葉を知っていますか？同じ環境問題でも地球温暖化と違い、知らない人も多いのではないのでしょうか。しかし、わたしたちの生活は生物多様性に支えられているといっても過言ではないのです。今まで当たり前前に存在していたからこそ、その大切さに気付かなかったのかもしれない。



生物多様性とは？

生物多様性は簡単に言えば森や里山、田んぼ、海、湿原など地球にある自然の中で多種多様な動物や植物が食物連鎖や他の生物の住処になるなど相互に依存しながら生きているということです。地域によって気候などの特徴が違う自然、そこに住んでいるさまざまな種類の生き物……それが生物多様性なのです。



わたしたちの社会は生物多様性に支えられている…

生物多様性から人間が得られる便益を「生態系サービス」と言います。わたしたちの生活はこの生態系サービスを利用することによって成り立っています。生態系サービスにはどのようなものがあるのでしょうか？



材料となる木材、食料や衣類の原材料として農地で生産される作物、家畜、海から獲れる魚、植物や微生物の遺伝子によって開発されている医薬品、トマトやイチゴなどの野菜や果物・自然の植物の受粉媒介を行うハチなどまだまだ数多くあります。また、わたしたちが普段の生活において当たり前前に存在しているために気付かないような生態系サービスも多く存在します。例えば、水の循環機能や森林の保水能力、土壌侵食の防止効果です。わたしたちがきれいな水を飲めるのは森林や海・川のおかげなのです。



生物多様性の危機！？

これまで紹介してきた通り生物多様性はわたしたちの社会を根底から支えている基盤と言えます。生物多様性から得られる生態系サービスがなければわたしたちは生きられないのです。しかし、現在これまでの地球の歴史上でもありえないほど急速なスピードで動物や植物、海の生物、森林、水資源など生物多様性の喪失が進んでいるのです。例えば海の生物で最近話題になっているのはマグロやサンゴ礁です。これは言うまでもなく人間の経済活動の拡大が招いた過剰な利用や開発、温暖化などが大きな原因です。

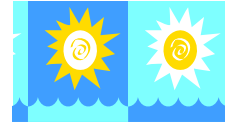
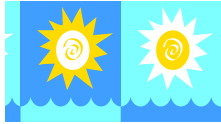
もはやわたしたちの生活水準は地球環境が耐えられる、持続可能なレベルを超えているのです。



世界的取り組み…COP10が名古屋で開催！

この危機に対処し、生物多様性の保全と持続可能な利用を目指す国際条約が1992年に地球サミットで採択されました。この条約が生物多様性条約です。この条約の第10回締約国会議（COP10）が今年10月に愛知県名古屋市で開催されます。会議では締約国が主に生物多様性の喪失への対策や目標について協議します。開催が近づくにつれニュースや新聞で報道が盛んになってきます。ぜひ注目してみてください。

みなさんもこれを機会に生物の多様性という、いのちのつながりを実感してみませんか？



6月5日(土)にアジェンダ21すいた主催のエコクッキング教室の取材を行いました。その際にお話を聞かせていただいたので、その一部をご紹介します。

ゴーヤ



ゴーヤは夏が旬の野菜で、ビタミンCが豊富であり、血糖値低下の効能があり、夏バテ防止にもなります。またゴーヤを日よけとして利用することで、緑のカーテンとしても使用できます。

ゴーヤ入り夏野菜カレー



レシピ (6人前)

ゴーヤ=1/2本 水=700cc
玉ネギ=小2個 カレールウ=6人分
ニンジン=1/2本 油=大1 ナス=2本
ピーマン=3個



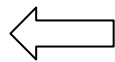
作り方

- ① 野菜を切る。ニンジンはよく洗い皮つきのまま切る。ゴーヤは縦2つに切り、スプーンで種とワタをとって5mm程度の半月にする。
- ② 鍋に油を入れ、玉ネギを焦がさないように炒める。
- ③ そのほかの野菜を加えて炒める
- ④ 水を加え、ひと煮立ちさせ、あくを取る。
- ⑤ ルウを加えて、火を切り、保温調理する。(30分保温)



感想：ゴーヤ自体の苦味も消え、その他の野菜自体もうまくカレーとマッチして野菜嫌いの人やお子様でもおいしくいただけます！！ 暑い夏もこのカレーを食べて乗り切りましょう！！

食べた後もエコ！！



このような野菜の皮そのまま捨ててませんか!?

野菜は水分が多く含まれているため、当日で140gある野菜の皮でも2日で75g、3日で55gと総重量が減少し、ゴミの総重量の削減につながります。(注)右図参照



当日
140g
2日目
75g
3日目
55g



ていだかんかん ～海とサンゴと小さな奇跡～



<あらすじ>

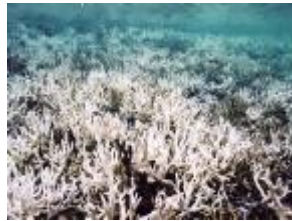
この映画は、金城健司（岡村隆史）が子供たちに「きれいで上等な海を見せてあげたい！」という願いから、世界で初めてサンゴを養殖し、海に移植するという奇跡の実話である。

健司は昔から海の生き物が好きで、その生き物を守りたいという気持ちからサンゴの養殖を始める。その養殖に専念するために健司は経営していたサンゴ・バーを閉めた。

サンゴの養殖は世界初の試みで島の人々に反対されていたが、健司のサンゴに対する気持ちが人々の心を動かし、サンゴの養殖に協力するようになる。健司は周りの人に支えられ、サンゴの養殖・移植そして産卵を成功させた。



<通常のさんご>



<弱ったさんご>



<さんごに住むウミガメ>

<感じたこと>

沖縄に住んでいる人の中にも、健司と同じで「昔のほうが海はきれいだったのになあ。」と思っている人はたくさんいると思います。でも、みんなはそれを思っているだけで、行動に移した人は今までいません。健司は自分の言葉に責任を持ち行動を起こしました。その結果サンゴを守ることが海を守ることに繋がったのです。

健司のように私たちも何かできることはないか探して行動に移せば小さな夢が大きな夢に変わるかもしれません。あなたもその何かを探して、それを行動に移してみませんか？

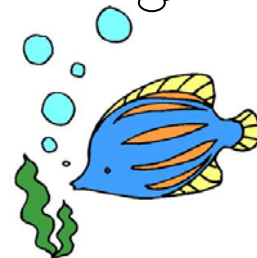
<サンゴについての豆知識>

みなさんはサンゴについてどのくらい知っていますか？
サンゴはクラゲやイソギンチャクと同じ刺胞動物の仲間で、植物ではなく、動物で産卵もします！またサンゴは、様々な魚たちの住みかにもなっています。つまりサンゴが減ることは、海の生き物たちにも影響を与えることになるのです！

サンゴの成育には非常に特定な条件が必要です。水温や太陽光の量など成育条件の幅は狭く、汚染のレベルも低くないとサンゴは生きることができません。

私たちの手でサンゴの住みやすい環境を作っていくことが大切です！

「ていだかんかん」って、「ていだ（太陽）」が「かんかん」照りってという意味なんだよ♪



イベント案内

吹田の自然と環境～ヒメボタルのいるまち～（主催：吹田市立博物館）

- ◆日時：平成22年7月17日（土）～8月29日（日） 午前9時30分～午後5時15分
平成22年8月6日（金） 午後2時～午後4時まで フォーラム「語り合おう吹田の環境教育」
（主催：アジェンダ21すいた）
- ◆場所：吹田市立博物館（岸部北4-10-1）
- ◆連絡先：吹田市立博物館 TEL：06-6338-5500 FAX：06-6338-9886

アジェンダ21すいた会員募集

アジェンダ21すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。

暮らしのCO₂ダイエットをはじめ、様々な取り組みを実践しています。

あなたも一緒に活動しませんか。

- ・個人会員：1,000円/年
- ・団体会員：5,000円/年
- ・賛助会員：101,000円/年
- ・準会員：無料

入会希望の方は、アジェンダ21すいた事務局まで
【アジェンダ21すいた事務局】

〒564-8550

吹田市泉町1-3-40

吹田市役所地球環境課内

TEL 06-6384-1782

FAX 06-6368-9900



エコプレス 7月号

発行：アジェンダ21すいたエネルギー部会

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

吹田市役所地球環境課内

TEL 06-6384-1782

FAX 06-6368-9900

編集：関西大学 経済学部 良永ゼミ

- ・表紙…吉井
- ・すいたエコツアー…上村、吉川、菅
- ・すいた環境教育フェア2010…青木、上村、吉川
- ・環境先進国の取り組み…赤井、松田
- ・特集：生物多様性って何？…小川、近藤
- ・旬の食材・食と環境…出石、中
- ・小説・映画紹介…北口、森、吉田

暮らしのCO₂ダイエット協賛・協力企業

大阪トヨペット株式会社吹田店

関西電力株式会社北摂営業所

リコー関西株式会社

編集後記

◇エコプレスを通して一人でも多くの方に、生物多様性に興味を持ってほしいです。（つばさ君）

☆エコクッキングに参加するごとに、いかに水を無駄遣いしているのかがわかります。今後、気をつけると共に色々な人にエコクッキングを広めたいです。（でいし）

♪「ていだかんかん」を見て、自分も環境のために何かできることを探し早く行動に移すべきだと思いました。（北口）

＃今回、環境先進国を調べてみて環境に取り組んでいる国といえばドイツのイメージがあったのですが、スウェーデンが一番取り組んでいるということがわかり、驚きました。（ちゃこ）

○様々な環境への取り組みや問題点などのお話をいただき、本当に勉強になりました。（デック）

♪生物多様性の大切さが企業、行政、市民に理解されるようになってほしいです。（こんちゃん）

▼取材を通して環境教育の大切さを改めて感じました。これからも、環境教育のイベントには参加していきたいです。（青木）

※今回のエコツアーで農家の方と知り合うことができ、後日ゼミ生で農業体験をさせてもらいにいきました。農業の大変さ、普段食べている野菜のありがたみがわかりました。（上ちゃん）